平成31年度 事務事業別予算概要書

(消防局関係)

平成31年度事務事業シート(計画)目次

大綱	目標	施策	事務事	業番号	事務事業名	所属名	掲載ページ
第2節	安全で変	と心なる	暮らしる	を地域	或で支えあうまち 一安心づくりー		
	③災害	や犯罪	などの	リス	クに強い安全なまち		
		2-9	迅速	に対応	むできる消防・救急・救助体制の充実		
	209			2	消防庁舎等整備事業	消防総務課	1
	209 4			4	消防団活動事業	消防総務課	2
	209 5			5	消防団施設等整備事業	消防総務課	3
			209	7	警防一般事務	警防課	4
			209	8	常備消防車両等整備事業	警防課	5
			209	9	消防水利整備事業	警防課	6
	209 12 高機			12	高機能消防指令センター整備事業	指令課	7
	209 13 予			13	予防一般事務	予防課	8
	209 15 消防署施設等管理事業				消防署施設等管理事業	東広島消防署、竹原消防署、大崎上島消防署	9

1 事務事業に関	する基本情報	事務事業番号	209 -	- 2	新規•継続	継続
事務事業名	消防庁舎等整備事業	一般会計	9 景	款 1項	3 目	ハード
 所	消防局 消防総務課 消防総務係		総合	計画施領	传体系 2	- 9

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目 **的** 消防需要増加への対応、災害現場への到着時間等の短縮及び市全体の消防力の向上を図ることを 目的とする。

対 象 (誰・何を対象に)

市民

1 (仮称)東広島消防署高屋分署の整備(284,708千円)

(1) 事業概要

消防需要増加への対応、災害現場への到着時間の短縮及び市全体の消防力の向上を図るため、新たに高屋地区へ消防署を整備し、平成33年10月の運用開始を目指す。

(2) 庁舎規模等

構 造 鉄骨造2階建て 敷地面積 約3,500㎡ 延床面積 約 650㎡ ※安芸津分署と同規模

(3) 事業スケジュール

平成31年度 建築設計完了、造成工事完了、建築工事着手平成32年度 建築工事完了、外構工事着手平成33年度 外構工事完了、運用開始予定

事業の概要 及び H31活動計画



東広島消防署安芸津分署(参考写真)

		単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)
活動・結果 指 標	(仮称)東広島消防署高屋分署建設事業進捗率 (累計執行額/総事業費見込)	%	-	16.7	55.7
14 1/2					

成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)

| 消防署の空白地域となっている高屋地区に分署を整備することにより、現場到着時間の短縮を図ることを目的としているため、現場到着時間を成果指標とする。

	【成果指標名】	単位	29年度	29年度 30年度 31年度		32年度 33年度			
成果指標 (目標達成状況等)	【从未拍标石】	平位	(実績値)	(目標値)	(目標値)	(実績値)	達成率	(目標値)	(目標値)
	現場到着時間(高屋町平均)	分	11	-	-				7

		29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
	事業費合計(A)	千円	128,790 千円	284,708 千円	千円
Ę	国県支出金	千円	千円	千円	千円
19	地方債	千円	119,100 千円	283,300 千円	千円
	内 その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	千円	9,690 千円	1.408 千円	千円

1 事務事業に	関する基本情報		事務事業番号	209 –	4	新規•継続	継続
事務事業名	消防団活動事業	一般会計		9 款	1項	2 目	ソフト
所属	消防局 消防総務課 消防団係			総合計	画施領	传体系 2	- 9

2 事務事業の概要・活動計画・指標

火災等から市民の生命、身体及び財産を守るという消防団の責任を果たすため、消防技術の向上 目的 を図るとともに、消防団活動の安全性を高めることにより、地域防災力の充実強化を図る。 (何のために) **対 象** (誰・何を対象に) 消防団員(条例定数1,637人)

1 団員報酬(40.847千円)

定数1,637人(平成31年1月1日現在1,578人)

2 退職報償金(58,096千円)

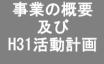
- (1) 退職報償金支給に係る掛金(1,637人分)
- (2) 退職報償金(60人分)

3 消防団員の出動・訓練手当(30,577千円)

- (1) 災害出動に係る費用弁償
- (2) 訓練・研修等の参加に係る費用弁償

4 教育・訓練等の推進(1,014千円)

- (1) 広島県消防学校・消防大学校の教育訓練を受講する。 (消防学校38人·消防大学校2人)
- (2) 安全管理セミナー、新入団員研修、機関員養成講習会等を実施する。









安全管理セミナー

5 活動服等の安全装備品等の整備・更新(6,034千円)

- (1) 活動服、活動靴、ヘルメット、雨衣等の整備更新を行う。 (2) 安全装備品として、防火衣を配備する。(50着)
- 【新】(3)災害等を記録するため、各方面隊にデジタルカメラを配備する。(10台)

6 消防団員互助会負担金等(4,703千円)

消防団員互助会、広島県消防協会、消防大学校への負担金等

	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)
活動・結果 指 標	消防団員の充足率(翌年度4月1日現在)	%	95	98	98
10 125	災害出動及び訓練・研修等に参加した延べ団員数	人	13,181	-	_

成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)

消防団活動事業は、消防団の消防技術の向上と活動の安全性の向上により地域防災力の充実強化 を図ることを目的としており、数値をもって成果を計ることは困難である。

	【成果指標名】	5夕】 当点		具指標名 】 単位		30年度	31年度			│ 32年度 │ ―年度	
		平世	(実績値)	(目標値)	(目標値)	(実績値)	達成率	(目標値)	(目標値)		
成果指標											
(目標達成状況等)											

		29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
	事業費合計(A)	134,577 千円	147,016 千円	141,271 千円	千円
事	財 国県支出金	千円	千円	千円	千円
業	源 地方債	千円	千円	千円	千円
費	内 その他	24,569 千円	26,630 千円	26,630 千円	千円
	一般財源	110,008 千円	120,386 千円	114,641 千円	千円

_	1 事務事業に関	する基本情報		事務事業番号	209	-	5	新規•継続	継続
I	事務事業名	消防団施設等整備事業	一般会計			9 款	1項	3 目	ハード
ı	所属	消防局 消防総務課 消防団係			総	合計i	画施領	6体系 2	- 9

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目 的 火災等から市民の生命、身体、財産を守るという消防団の責任を果たすため、消防団の施設・設備 (格納庫・車両・ポンプ・資機材等)の整備及び更新を行い、地域防災力の充実強化を図る。

対 象 (誰・何を対象に)

消防団(46分団)

1 消防団統合格納庫の整備(2,000千円)

(1) 事業概要

第一方面隊吉士実分団(西条吉行東)統合格納庫の新築設計業務を実施する。

(2) 施設概要

構造規模:軽量鉄骨造2階建延床面積:約85㎡



統合格納庫(参考写真)

事業の概要 及び H31活動計画

2 消防団車両(小型動力ポンプ付積載車)の更新及び資機材の整備(25,151千円)

(1) 事業概要

小型動力ポンプ付積載車3台及びホース等の資機材を更新する。

(2) 車両更新対象分団

第七方面隊豊栄第二分団(豊栄町)、第八方面隊河内西分団(河内町)、 第十方面隊第五分団(安芸津町)





小型動力ポンプ付積載車(参考写真)

	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)
活動・結果 指 標	統合格納庫延べ整備数。()内は設計数	施設	25(1)	26	26(1)
JH W	消防団車両の更新台数	1	3	3	3

成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)

分散、老朽化した狭隘な格納庫を統合し、車庫や待機室、トイレを備えた統合格納庫の整備を進めるとともに、更新基準年数を経過した消防団車両を計画的に更新し、消防団の災害対応力の向上を図ることを目的としていることから、数値をもって成果を図ることは困難である。

	【成果指標名】	単位	29年度 30年度		31年度			32年度	—年度
		平世	(実績値)	(目標値)	(目標値)	(実績値)	達成率	(目標値)	(目標値)
成果指標									
(目標達成状況等)									

	29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
事業費合計(A)	32,968 千円	51,698 千円	27,151 千円	千円
事財国県支出金	千円	千円	千円	千円
│ 業 │ _源 │ 地方債	25,300 千円	46,400 千円	24,300 千円	千円
費内その他	千円	千円	千円	千円
一般財源	7,668 千円	5,298 千円	2,851 千円	千円

1 事務	事業に関す	する基本情	手報			事務事業番号	209	-	7	新規•継続	継続
事務事	業名	警防一般	と事 務		一般会計			9 款	1項	1 目	ソフト
所	属	消防局 警	修防課	警防係·救急救助係			総	合計画	画施策	長体系 2	- 9

7月 周	相例的 音例味 音例体	:			松口引巴地	和中尔 Z = 9			
2 事務事業の概	要・活動計画・指標								
目 的 (何のために)	市民の安全・安心を図る	るために、消防・	救急体制	制の充実強化	を図る。				
対 象 (誰・何を対象に)	市民•消防職員								
事業の概要 及び H31活動計画	(2) 養成期間 133日間 (3) 養成人数 2人 3 救急救命士病院 (1) 病院等習の (2) 病院等へのの (3) 研修のための 【新】4 指導救命士養成 救急救命士の中 における知識・技術 (1) 養成機関	トロール協議会 (5,706千円) (5,706千円) 成し、救 物急救命 ま習及び研門 (451千円) から前上 がのの 大いの 大い	へ円) 1,927千 向成 係 引) る を る が る が る が る が る が る の り る の り る る る る る る る る る る る る る る	旦金(460千円)円)のである。 でである。 でである。 では、数のである。 では、数のである。 では、数のである。 では、数のである。	で(1, 723千円) 命士及び消防職員の fu	救急活動			
活動・結果		[保石]		29千及(天称	30年及(日保)	31年及(日保)			
指標	指導救命士養成者数		人		_				
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ	警防及び救急に係る各種研修や訓練に参加し、技術及び知識の向上を図ることを目的としているため、数値をもって成果を図ることは困難である。								
数値工では現れてくい成果)			-						
	【成果指標名】	単位 29年度 (実績値		F度 票値)(目標値)		32年度 —年度 目標値) <u>(目標値)</u>			
成果指標 〔目標達成状況等〕									

_	<u> </u>	<u> </u>				
			29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
	2	事業費合計(A)	9,246 千円	9,392 千円	10,769 千円	千円
	事	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	業	, 原 地方債	千円	千円	千円	千円
ı	費	ち その他	2,248 千円	2,272 千円	2,480 千円	千円
ı		一般財源	6,998 千円	7,120 千円	8,289 千円	千円

事務事業番号 新規・継続 1 事務事業に関する基本情報 209 継続 事務事業名 常備消防車両等整備事業 ·般会計 9款 1項 3 目 ハード 消防局 警防課 警防係·救急救助係 総合計画施策体系 2 - 9所 属

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目 的 各種災害対応に万全を期するため、更新基準を超過した車両の整備及び更新を計画的に行い、消 防・救急・救助体制の充実を図る。

対 象 (誰・何を対象に)

消防局、東広島消防署、竹原消防署及び各分署

1 常備消防車両の整備及び更新(151,152千円)

(1) 事業概要

消防局が定める「東広島市消防局消防車両整備更新計画」の更新基準に基づき、消防・救急車両等の整備及び更新を行う。

- (2) 整備更新車両
 - ア 予防査察車(6,206千円:消防局)
 - イ 指揮車(7,055千円:東広島消防署)
 - ウ 化学消防自動車(73,013千円:東広島消防署)
 - 工 高規格救急自動車(34,725千円:東広島消防署東分署)
 - オ 消防ポンプ自動車(30,153千円:竹原消防署)

事業の概要 及び H31活動計画



予防査察車・指揮車(参考写真)



化学消防自動車(参考写真)



高規格救急自動車(参考写真)



消防ポンプ自動車(参考写真)

	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)
活動・結果 指 標	消防自動車等の更新台数	和	1		4
10 100	高規格救急自動車の更新台数	伯	2	2	1

成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)

「東広島市消防局消防車両整備更新計画」に基づき更新基準を超過した車両を順次更新することにより、消防力の充実強化を図ることを目的としていることから、数値をもって成果を図ることは困難である。

	【成果指標名】	単位	29年度	30年度	31年度		32年度	—年度	
		平四	(実績値)	(目標値)	(目標値)	(実績値)	達成率	(目標値)	(目標値)
成果指標									
(目標達成状況等)									

	29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
事業費合計(A)	122,064 千円	68,184 千円	151,152 千円	千円
事 財 国県支出金	千円	千円	千円	千円
事 _財 国県支出金 業 源 地方債 費 内 その他	77,700 千円	18,700 千円	116,500 千円	千円
費内その他	13,350 千円	49,406 千円	31,092 千円	千円
一般財源	31,014 千円	78 千円	3,560 千円	千円

1 事務事業に関	する基本情報	事務事業番号	209 –	9	新規•継続	継続
事務事業名	消防水利整備事業	一般会計	9 款	1 項	3 目	ハード
所 属	消防局 警防課 警防係		総合詞	計画施領	策体系 2	- 9

所 属	消防局 警防課 警防係			総合計画施策	6体系 2-9
2 事務事業の概	要・活動計画・指標				
目 的 (何のために)	消防水利施設(耐震性貯水槽・消火栓)	を整備	し、消防水利の強	化を図る。	
対 象 (誰・何を対象に)	市民				
事業の概要 及び H31活動計画	1 耐震性貯水槽測量設計業務委託 (1) 事業概要 市内の消防水利確保に向けて (2) 規格 耐震性貯水槽40㎡ (3) 対象箇所及び実施数 河内町3箇所、高屋町2箇所 2 消火栓の整備(39,465千円) (1) 事業概要 市内の消防水利を確保するた 対し、負担金を支払う。 (2) 内訳 新設:12基 更新:12基 増口径延長:3,920m (3) 対象箇所 西条町、高屋町、黒瀬町	て、耐震	性貯水槽整備のた		
	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)
活動・結果 指 標	耐震性貯水槽の整備数	箇所	5	5	_
	消火栓の整備数	基	35	31	24

成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)

消防水利である耐震性貯水槽及び消火栓を計画的に整備し、消防水利の充実強化を図ることを目的としているため、数値をもって成果を図ることは困難である。

【成果	【成果指標名】	単位	29年度	30年度	度 31年度			32年度	—年度
	【八木相悰石】		(実績値)	(目標値)	(目標値)	(実績値)	達成率	(目標値)	(目標値)
成果指標									
(目標達成状況等)									

	29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
事業費合計(A)	69,371 千円	87,260 千円	42,165 千円	
事 財 国県支出金	10,772 千円	13,465 千円	千円	千円
事 _財 国県支出金 業 源 地方債 費 内 その他	22,100 千円	30,800 千円	2,700 千円	千円
費内その他	千円	千円	千円	千円
^武 一般財源	36,499 千円	42,995 千円	39,465 千円	千円

1 事務事業に関	する基本情報	事務事業番号	209	-	12	新規·継続	継続
事務事業名	高機能消防指令センター整備事業 一般会計		9	款	1項	3 目	ハード
所 属	消防局指令課 第1指令係•第2指令係		総台	画信台	施策	体系 2	- 9

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目 的 各種災害対応に万全を期するため、更新期を迎えた高機能消防指令センターを更新整備し、指令システムの安定稼働をさせることにより、指令業務の充実強化を図る。

対 象 (誰・何を対象に)

119番通報をする者

1 高機能消防指令センター整備(124,981千円)

(1) 事業概要

高機能消防指令センターを更新整備し、平成32年度に運用開始する。

(2) 事業内容

高機能消防指令センター整備(118,867千円) 調達支援業務(4,342千円) 整備監理業務(1,478千円) 中間検査(294千円)

(3) 事業スケジュール

事業の概要 及び H31活動計画

H30年度	H31年度	H32年度
6月 ● 調達支援業務 仕様書作成 契約 (プロポーザル) 準備	5月 6月 9月 契約(業者選定)10月	8月
	高機能消防指令センター	整備・監理業務 9 月 運用開始



高機能消防指令センター(参考写真)

		単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)
活動・結果 指 標	高機能消防指令センター整備事業進捗率 (累計執行額/総事業費見込)	%	-	0.5	20.5
1H W					

成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)

高機能消防指令センターの更新整備による指令システムの安定稼働を目的としていることから、数値 をもって成果を図ることは困難である。

	【成果指標名】	単位	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	(目標値)	31年度 (実績値)	達成率	32年度 (目標値)	──年度 (目標値)
成果指標 (目標達成状況等)									

		29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
	事業費合計(A)	千円	千円	124,981 千円	千円
事	財 国県支出金	千円	千円	33,932 千円	千円
業	源 地方債	千円	千円	65,600 千円	千円
費	内 その他	千円	千円	25,106 千円	千円
	一般財源	千円	千円	343 千円	千円

1 事務事業に関	する基本情報		事務事業番号	209 –	13	新規•継続	継続
事務事業名	予防一般事務	一般会計		9 款	1項	1 目	ソフト
所 属	消防局 予防課 予防係・指導係・查察	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		総合計	画施領	传体系 2	- 9

		松口引曲加泉体术 2-9
2 事務事業の概	既要・活動計画・指標	
目 的 (何のために)	市民の防火・防災意識の高揚を図るとともに、防火対象物(建築物)保し、火災のない安全安心なまちづくりを推進する。	及び危険物施設等の安全性を確
対 象 (誰・何を対象に)	市民及び事業所	
事業の概要 及び H31活動計画	1 火災予防啓発活動(936千円) 火災の発生を防止し、火災による死傷者の発生や財産の損害動を実施する。 (1) 広報紙やFMラジオ等を活用した火災予防広報 (2) 事業所等を対象とした初期消火競技大会 (3) 危険物施設を対象とした消防訓練 2 消防・防災フェア(1,136千円) 幼少年期からの防火・防災意識の高揚を図るため、体験型のイベントとして『消防・防災フェア』を開催する。 ②主要体験ブース ・ VR(バーチャルリアリティ)による避難体験 ・ 応急手当コーナー ・ はしご車搭乗体験 ・ 起震車による地震体験 3 火災予防査察(立入検査)による違反是正の推進(189千円(1) 建築物や危険物施設等への立入検査を実施する。 (2) 消防法令に違反している建築物及び危険物施設等への行	新ブース起震車(参考写真) 引) 行政指導を実施する。
及び	 ○主要体験ブース ・ VR (バーチャルリアリティ)による避難体験 ・ 応急手当コーナー ・ はしご車搭乗体験 ・ 起震車による地震体験 3 火災予防査察(立入検査)による違反是正の推進(189千円(1) 建築物や危険物施設等への立入検査を実施する。 (2) 消防法令に違反している建築物及び危険物施設等への行 4 防火対象物(建築物)・危険物施設等の審査及び検査(4,79 	引) 亍政指導を実施する。

建築物や危険物施設等について、消防用設備等(消火設備・警報設備・避難設備)が消防法令 に基づき設置されるよう、図面審査及び完成時等の検査を実施する。

5 予防・危険物研修(193千円)

- (1) 消防用設備、違反是正、危険物等の事務について、高度な知識や技術を習得するため、高 圧ガス保安協会等の外部機関が実施する研修を受講する。
- (2) 予防に関する知識及び技術の向上を目指して、予防調整会議及び研修会を実施する。

	【活動・結果指標名】		単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)		
活動・結果 指 標	消防・防災フェア来場者数		人	5,50	6,000	6,000		
, r	立入検査及び行政指導件数		件	56	750	750		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	予防事業は、多様な手段による火災予防情報の発信や体験型のイベント「消防・防災フェア」の開催により、更なる市民の防火・防災意識の高揚を図ることを目的としている。また、建築物や危険物施設についても、立入検査等により市民が利用する施設の安全性の確保を目指していることから、数値をもって成果を計ることは困難である。							
	【成果指標名】 単位	29年度 (実績値)	30年	F度 3 票値)(目標値)	日年度 (実績値) 達成率 (32年度 —年度 目標値)(目標値)		
成果指標 (目標達成状況等) (目標達成状況等) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本								

		29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
	事業費合計(A)	2,816 千円	7,412 千円	7,247 千円	千円
事	財 国県支出金	千円	千円	千円	千円
業	源 地方債	千円	千円	千円	千円
費	内 その他	2,816 千円	7,412 千円	7,247 千円	千円
	一般財源	千円	千円	千円	千円

事務事業番号 新規・継続 1 事務事業に関する基本情報 209 継続 消防署施設等管理事業 事務事業名 一般会計 9款 1項 3 目 ハード 総合計画施策体系 消防局 東広島消防署·竹原消防署·大崎上島消防署 2 - 9 所

2 事務事業の概要・活動計画・指標

<u> 4 争份争未切做</u>	安『泊期計画『拍憬
目 的 (何のために)	消防体制の適正な運営を確保するため、消防署所(施設)及び消防車両等について、適正に維持 管理する。
対 象 (誰・何を対象に)	消防署所(施設)及び消防車両等
	1 消防署所の維持管理(18,750千円) 消防署所(施設)を維持するため、建築物等の附帯設備の保全に関する業務及び修繕 等を計画的に実施する。
	3署6分署【東広島市内:1署5分署】 (東広島消防署、西分署、南分署、北分署、東分署及び安芸津分署)
	2 消防車両等の維持管理(57,198千円) (1) 緊急出動を行う消防車両及び消防活動に必要な資機材を維持するため、車検等の法 定点検、修繕及び備品等の更新を実施する。(54,308千円)
	緊急車両 57 台(消防車 38 台、救急車 19 台)、事務連絡車等 6 台 【東広島市内:消防車 24 台、救急車 13 台、事務連絡車等5台】
事業の概要	舟 艇 救急患者搬送艇:1艇(大崎上島消防署)
7-21-2-120	

事業の概要 及び H31活動計画

【新】(2) ドライブレコーダーの設置(2,890千円)

緊急自動車の安全運転意識の向上と事故の再発防止を図るため、全ての緊急車両にドライブレコーダーを設置する。(53台(消防車35台、救急車18台))

- 東広島消防署 34台(消防車22台、救急車12台)
- 竹原消防署 12台(消防車 8台、救急車 4台)
- 大崎上島消防署 7台(消防車 5台、救急車 2台)
- ※ 平成31年度更新予定の4台(消防車3台、救急車1台)については別事業により設置

3 防災センターの維持管理(254千円)

防火・防災に関する普及啓発事業の拠点としての機能を維持するため、修繕等を計画的に実施する。



A AAAAA





地震体験

消火器体験 119番通報体験 VR(バーチャル・リアリティ)体験

	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)
活動・結果 指 標	防災センター年間来場者数	人	5,504	6,000	6,500
JH W					

成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)

消防署所(施設)及び消防車両等については、消防体制の適正な運営を確保するため、維持管理することを目的としており、また、防災センターは、各種災害の疑似体験等を通じて市民の防火・防災意識の高揚を図ることを目的としていることから、数値をもって成果を図ることは困難である。

	【成果指標名】	単位	29年度	30年度		31年度		32年度	—年度
		平匹	(実績値)	(目標値)	(目標値)	(実績値)	達成率	(目標値)	(目標値)
成果指標									
(目標達成状況等)									

	29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
事業費合計(A)	69,039 千円	74,101 千円	76,202 千円	千円
事財国県支出金	千円	千円	千円	千円
│ 業 │ _源 │ 地方債	千円	千円	千円	千円
費内その他	38,846 千円	42,447 千円	39,013 千円	千円
一般財源	30,193 千円	31,654 千円	37,189 千円	千円